

<開催要領>

# 『機会創造』

## ～次世代農業への挑戦～

第 63 回全国青年農業者会議開催要領

(令和 6 年度)

主催 全国農業青年クラブ連絡協議会

## 1. ねらい

この会議は日本農業の担い手として、農業や農村生活環境の改善等を実践している若者たちが、体験した成果をお互いに発表し合い、当面する問題の解決方法や発展方向を見出すとともに、農業を取り巻く諸問題を討議して、新しい農業及び農村の創造に資することをねらいとして開催する。

## 2. 主催

全国農業青年クラブ連絡協議会

## 3. 後援

全国指導農業士連絡協議会、公益社団法人大日本農会、社団法人全国農業改良普及支援協会、公益社団法人国際農業者交流協会、一般社団法人全国農業会議所

## 4. 開催期日

令和7年3月11日（火）

受付：12：30～

開会式：13：00～

発表終了：17：00

交流の夕べ：19：00～21：00

令和7年3月12日（水）

受付：9：00～

講演：9：00～

閉会式：11：30～12：00

## 5. 開催場所

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
国立オリンピック記念青少年総合センター

懇親会場

東京都渋谷区宇田川町13-8

ちとせ会館B1F 「TK Rental Space」

会議期間中事務局

事務局部屋（国立オリンピック記念青少年総合センター内 センター棟307号室）

担当：事務局長 浅津

## 6. 参加者

（1）各都道府県は、次により参加者を募集するものとする。

ア 青年農業者

イ 都道府県農業青少年担当普及指導員

ウ 都道府県農業青少年担当者

（2）学生・社会人、一般、一般企業の参加も受け付ける。

## 7. 会議内容

行事内容

ア プロジェクト発表

青年農業者の代表によるプロジェクト発表を行う。

イ 青年農業者の意見発表

青年農業者の代表による意見発表を行う。

ウ 交流の夕べ（懇親会）

全国の農業青年や関係者が集い、情報交換や親睦を深め、ネットワークづくりの基盤を作る。

エ 講演

第一部『農業特化型生成 AI について（仮）』

講師 農研機構 農業情報研究センターデータ研究推進室 桂樹 哲雄 氏（上席研究員）

第二部『スマ農最新技術と未来展望（仮）』

講師 北海道大学 北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 生物生産研究農場  
星野 洋一郎 氏(教授)

8. 運営

実行委員会及び全協事務局

ア 全国農業青年クラブ連絡協議会の担当者により実行委員会を設置する。

イ 実行委員会は会議の運営と実務を行う。実行委員会に会議事務局をおく。

9. 表彰

(1) プロジェクト発表の表彰

令和6年度ブロック大会で代表に選ばれた者による発表を行い、優秀なものに対し、農林水産大臣賞、農林水産省経営局長賞及び全国農業青年クラブ連絡協議会会長賞を授与する。

(2) 意見発表の表彰

令和6年度ブロック大会で代表に選ばれた者による発表を行い、優秀なものに対し、農林水産大臣賞、農林水産省経営局長賞及び全国農業青年クラブ連絡協議会会長賞を授与する。

(3) 篤志指導者への感謝状

4H クラブを長年にわたり献身的に指導し、農村青少年活動の発展に寄与した優秀な篤志指導者に対し、農林水産省経営局長感謝状を授与する。

10. 広報

会議の成果は各種の手段により広く広報する。

11. その他

(1) 参加費 参加費は以下のとおりとする。

全協加盟道府県、学生 : 1人 5,000円

全協非加盟都県、一般社会人 : 1人 10,000円

交流の夕べ : 1人 6,000円

(2) 会議事務局 公益社団法人大日本農会内

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2-1 (日土地内幸町ビル2階)

担当：事務局長 淺津

Mail: [4hkikaku@gmail.com](mailto:4hkikaku@gmail.com)

Tel: 080-1925-9687 Fax:03-3584-0573